

1. 日時：平成28年11月28日（月） 10：30～12：00
2. 場所：中日本高速道路株式会社801、802会議室、東京支社1102会議室
3. 出席委員：林委員長、水尾委員長代理、小川委員、奥村委員、山内委員
4. 議事要旨

再評価（原案）の審議

○第二東海自動車道横浜名古屋線（秦野～御殿場JCT）及び近畿自動車道名古屋神戸線（菰野～亀山西JCT）の再評価（原案）を説明の上審議し、対応方針については原案（事業継続）のとおり了承された。

○主な意見

■第二東海自動車道横浜名古屋線（秦野～御殿場JCT）

- ・この地域は、大変な渋滞の発生地域であり、渋滞の解消や災害への備えが非常に重要であり、この二つの効果だけでも事業継続の意義がある。
- ・重要であり待ち望まれている事業。費用便益比からも問題ない。
- ・災害時の効果について、もう少し具体性を持った数値を示すと、一般の方にも非常に納得のいく評価になるのではないか。
- ・物価上昇が共通的な事象であるなら、第二東海自動車道の事業費についても縮減の内容と併せて説明した方が良いのではないか。

■近畿自動車道名古屋神戸線（菰野～亀山西JCT）

- ・渋滞への効果や地域経済への効果において、十分な効果をもたらすということで事業継続の意義がある。
- ・渋滞の激しい箇所であり、費用対効果は十分に期待される。
- ・インバウンドの観点からすると、中部国際空港から京都など観光地へのアクセス性を高めるうえで新名神の整備は重要である。
- ・近隣の滋賀県や奈良県にもメリットがあり期待されていることから、広く意見を聞いた方がより幅広く効果を整理できるのではないか。

以上